

4団体と社会教育を考える会 そして市民の運動

経過報告



齊藤 仁(東寺方複合館の存続を考える会)

多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム

～少子化・超高齢社会に向けた持続可能なまちづくりのために～

2013年11月



唐木田



東寺方



聖ヶ丘



豊ヶ丘

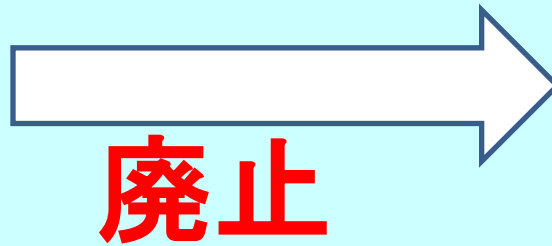
平成25年11月

多摩市

多摩市公共施設の見直し方針と 行動プログラム

図書館

7館



3館

唐木田図書館(未定)
聖ヶ丘図書館(未定)
豊ヶ丘図書館(34年度)
東寺方図書館(29年度)



図書館、複合館の存続を求める

陳情 → 豊ヶ丘、東寺方、唐木田

要請署名 → 聖ヶ丘

多摩市議会 しらた満 議長 殿

2014年8月26日

東寺方図書館の存続を求める陳情

陳情者

住所：多摩市和田 19-2

代表：齊藤

電話：042-373-8594

署名者 68名

市側から東寺方複合館の市民ホール・図書館が、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」で廃止の計画が出されました。

私たちは日ごろ、図書館を利用しています。

私たちが図書館を利用するのは、静かな雰囲気の中で、本を探す楽しみがあるからです。作者からだったり、題名からだったり、評判からだったりします。また子育て中の親子と一緒に絵本を探したり、読み聞かせなどしています。お年寄りや住民が、雑誌や新聞を見たりしています。

既存の地域で数少ない文化的な公共の施設として、多くの住民が利用しています。

市が提案している第2小学校の中に作ろうとしているのは、図書館資料の予約の申し込み、貸出、返却の機能だけで、これでは私たちの楽しみがありません。近くに図書館があることで、家から出るよい機会にもなりますし、本を読むことで、知識はもちろん、心を豊かにすることができます。

2014年8月5日の「たま広報1229号」の「多摩市自治基本条例」にもあるように「まちづくりの主人公は、市民の皆さんです。市民の皆さんが主体的に参加し・・・」「情報を集めるために図書館や公民館を活用」等と、記載されています。今回の計画はこの趣旨を無視するものです。

2001年1月に「多摩市市民自治基本条例をつくる会」が結成され、全国でも初めてのケースとして注目を集めました。この大切な条例を後退させないで守って下さい。東寺方図書館の存続を求め陳情いたします。

「陳情項目」

東寺方図書館の存続を求めます。



こども教育常任委員会(図書館)



東寺方、唐木田図書館→趣旨採択

総務常任委員会(複合館)



豊ヶ丘→採択、東寺方→趣旨採択

市議会本会議



豊ヶ丘→採択

東寺方、唐木田→趣旨採択

採択と趣旨採択のちがい

採択

採択とは、内容について願意が妥当であり法令上、**行財政上実現性もある**ような場合、「議会としてこれに賛同する」という意味の意思決定をいう。これを否認する決定を不採択という。

趣旨採択

内容について願意は妥当であるが、その実現性について**当分の間は不可能**である場合、「趣旨には賛成である」という意味の意思決定をいう。

市長への質問状提出

【市回答】

公共施設は更新時期を確実に迎えていくことから個別施設の取組も着実に進めていく必要があります。同プログラムにおいてお示ししている個別施設の取組は確定したのではなく、市民の皆さんとの意見交換等を通じてより良い案があれば軌道修正していきます。市民の皆さんに丁寧に説明し、意見交換を重ねていく考えです。

市長、市の担当者との対話集会

豊ヶ丘、聖ヶ丘、東寺方



標語ポスター作成

じどうかん
いつでも行ける
みんなで行ける
だれかに会える楽しい場所



平成29年度以降で… **ご存知ですか？**
東寺方複合館がなくなる？
図書館・児童館・老人福祉館・地区市民ホール

東寺方複合館の存続を考える会
でんわ：042-373-8594（齊藤）
メール：terakatasonzoku@yahoo.co.jp
ブログ：http://m.blogs.yahoo.co.jp/terakatasonzoku

図書館は
みんなが本よむところですよ
のこしていきましょう
みんなだね



平成29年度以降で… **ご存知ですか？**
東寺方複合館がなくなる？
図書館・児童館・老人福祉館・地区市民ホール

東寺方複合館の存続を考える会
でんわ：042-373-8594（齊藤）
メール：terakatasonzoku@yahoo.co.jp
ブログ：http://m.blogs.yahoo.co.jp/terakatasonzoku

4団体合計**15,000**筆以上の署名

- 「東寺方複合館の存続を考える会」
(署名**5,030**筆)+**2,004**筆
- 「豊ヶ丘複合館存続の会」
(署名**3,673**筆)
- 「聖ヶ丘図書館の存続を考える会」
(署名**4,787**筆)
- 「唐木田図書館の存続を考える会」
(署名**1,674**筆)+**756**筆

地域図書館存続のために運動している4団体の主なとりくみ

年	豊ヶ丘複合館存続の会	東寺方複合館の存続を考える会	聖ヶ丘図書館の存続を考える会	唐木田図書館の存続を考える会
(平成25) 2013	第1回豊ヶ丘複合館存続の会結成 豊ヶ丘複合館の存続を求める陳情 第1回市長との懇談会(76人)			
(平成26) 2014	第2回市長との懇談会(66人) 第3回市長との懇談会(88人) 市議会陳情採択(署名3,673筆) 多摩市「豊ヶ丘複合館存続」を表明 第4回市長との懇談会(57人)	東寺方図書館の存続を求める陳情 市議会陳情趣旨採択(署名2,004筆) 「東寺方複合館の存続を考える会」結成 東寺方複合館存続を求める陳情 市議会陳情趣旨採択(署名5,030筆)	「聖ヶ丘図書館のあり方を考える会」結成(40数人) 「聖ヶ丘図書館の存続について(申し入れ)」を市長宛てに提出 聖ヶ丘図書館の廃止提案についての市当局との対話集会(140人)	唐木田図書館の存続を求める陳情 市議会陳情趣旨採択(署名756筆)
(平成27) 2015	第5回市長との懇談会(60人)	多摩市市長との対話集会(76人) 市担当者との対話集会(69人) 「東寺方複合館の存続を考える会」結成 1周年報告会(56人)	市長との対話集会(147人) 聖ヶ丘図書館の存続を求める要請(署名4,787筆) 「多摩市における地域図書館廃止計画の見直しに向けてのお願い」を教育委員会などに提出	「唐木田図書館廃止計画の撤回に関する陳情」 市議会陳情趣旨採択(署名1,674筆)
四団体共同行動	2015	多摩市議会議員立候補予定者との対話集会(予定候補10名参加・「多摩市の社会教育を考える会」と共同行動) 市長と4団体との協議・意見交換 自治推進委員会に要請し市長へ「自治推進に関する意見」提出を実現 多摩市議会議員と「地域図書館および複合施設等の存続について」懇談会(10月21日 市議15名参加) 多摩市議会各会派との懇談会(改革未来、ネット、社民、自民、公明、共産)(11月4日～13日 市議23名) 多摩市長へ「自治推進委員会からの「自治の推進に関する意見」についての質問状」提出 多摩市図書館協議会との懇談		
	2016	多摩市教育委員会との懇談		

「多摩市社会教育を考える会」

2014年12月23日発足

- 2015年
- 4月5日 多摩市議会議員選挙立候補予定者との対話集会
- 6月25日 多摩市図書館協議会に対し 「廃止計画見直しをお願い」を提出。
- 7月26日 「私たちの街」フェスティバルに参加

「多摩市社会教育を考える会」

- **2015年**

- 9月19－20日 **永山フェスティバル** 展示参加
- 10月4日 多摩市**第1回**公民館利用者交流会
- 10月23 - 26日 **多摩市市民文化祭** 展示参加

- **2016年**

- 1月16日～1月31日 **多摩市読書活動振興計画原案**についての市民懇談会に参加（各図書館で）
- 1月15日～2月1日 **多摩市読書活動振興計画原案**についてのパブリックコメントにメンバーそれぞれが応募

「多摩市社会教育を考える会」2016年

- 1月25日 **多摩市図書館協議会との懇談会実施**
- 2月26日 **多摩市教育委員会と懇談会**
- 5月 地域図書館存続をもとめる4団体による「**市民の情報紙**」づくりに協力
- 6月～17年1月

「多摩市図書館本館再構築委員会」 傍聴、ヒアリング受諾

- 9月 永山フェスティバル参加
- 11月3-5日 多摩市民文化祭参加

「多摩市社会教育を考える会」2017年

- 1月 地域ふれあいフォーラム参加
- 1月 「多摩市の公民館について、市民として、利用者として考える集い」 準備会 相談会
- 7月14日 **学習会「多摩市の文化行政の歩みとこれまでの考え方」**
- 7月16日 関戸公民館 市民企画講座
**「私たちの街の公民館 地域イキイキ活動交流術」
開催**
- 7月16日 地域ふれあいフォーラム
- 9月16日 永山フェスティバル 展示参加

2015年6月

自治推進委員会へ要請

2015年6月12日

自治推進委員会委員長

安藤 雄太 殿

豊ヶ丘複合館存続の会	代表	大橋 慶一
聖ヶ丘図書館の存続を考える会	代表	榎原 厚芝 麗子
唐木田図書館の存続を考える会	代表	中江 智明
東寺方複合館の存続を考える会	代表	齊藤 仁

多摩市自治基本条例の遵守を求める要請

自治基本条例基本原則

(基本原則)

第4条 私たちのまちの自治は、市民の意思に基づき、次の各号に掲げる基本原則によって推進されなければなりません。

- (1) 性別年齢などにかかわらず、市民一人ひとりの人権が保障され、その個性及び能力が十分に発揮されること。
- (2) 市民、市議会及び市の執行機関がまちづくりに関する互いの情報を共有すること。
- (3) 市民の自主的・自立的な参画が保障されること。

市民の権利

(市民の権利)

- 第5条 市民は、まちづくりに参画する権利を有します。
- 2 市民は、まちづくりに関し、自らの意見を表明し、又は提案することができます。
 - 3 市民は、まちづくりに関し、市議会及び市の執行機関の保有する情報を知ることができます。

2015年6月末時点の 多摩市の考え

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」

のこれまでの取組(経過報告)について

平成27年6月末時点

平成25年11月に策定した「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」(計画期間平成26～35年度)について、平成27年6月までの経過をお知らせします。

計画策定と前後して、この間、大変多くの市民や施設利用者の皆様から施設自体の存続を求める声をはじめ様々な声が寄せられています。

図書館(多摩市の考え)

【経過を踏まえた現在の市の考え方】

地域図書館は本館と駅に近く比較的規模の大きな拠点館 2 館の計 3 館に集約するとしていましたが、陳情採択の結果や引き続き地域図書館の存続を求める市民の方々と情報共有・意見交換等を重ねているところでもあり、図書館本館の更新も含めた図書館全体の今後のあり方について、行動プログラムの更新に合わせ検討していく考えです。

図書館の問題点

- 平成27年8月に多摩市から全戸配布された「政策情報誌」では財政的な問題を一方的に理由にあげる今までの主張を繰り返した内容。
- 地域図書館の存続を求める市民の方々と情報共有・意見交換等を重ねているとありますが、8月2日以後情報共有・意見交換はまったく行われていません。

児童館(多摩市の考え)

【経過等を踏まえた現在の市の考え方】

各児童館は、地域子育て支援拠点施設に再編しますが、桜ヶ丘児童館、豊ヶ丘児童館については、陳情採択の結果を尊重し、旧来の児童福祉法に基づく児童館として当面は存続させ、今後のあり方を行動プログラムの更新に合わせ検討します。

愛宕児童館と東寺方児童館は、平成29年度に廃止し、(仮称)和田・東寺方コミュニティセンターの地域の子育て世代や出張子育ての広場のためのスペースを活用する考えです。

地区市民ホール・老人福祉館

【経過等を踏まえた現在の市の考え方】

地区市民ホール及び老人福祉館は、コミュニティセンターに統合するとしていましたが、豊ヶ丘地区市民ホール及び豊ヶ丘老人福祉館については、陳情採択の結果を尊重し、当面現状どおりに存続させ、今後のあり方を行動プログラムの更新に合わせ検討していく考えです。

2015年8月

- 市長と4団体との協議・意見交換
8月2日
- 市議会議長へ懇談会の要請
8月27日

自治推進委員会が市長へ意見

8月31日

- 1 行政の情報伝達の方法や開示方法については、市民にその内容が分かりやすく伝わるよう、さらに工夫していただきたい。
- 2 市が行政計画等を策定する際には、そのプロセスに多様な市民の意見が反映されるよう、より一層の工夫していただきたい。
- 3 市民主体の自治の推進の立場から、新しい方向性と文化的価値を創造する工夫に向けて、参加と協働の場づくりに努力していただきたい。



永山フェスティバル参加
2015年9月19日～20日

多摩市議会議員との懇談会
2015年10月21日

市議15名参加

多摩市文化祭参加

2015年10月23日～26日



市議会各会派との懇談

2015年11月4日～13日

- 11月 4日 改革みらい(7名)
- 11月 9日 生活者・ネット(3名)
- 11月12日 自民党・新生会(3名)
- 11月12日 公明党(5名)
- 11月13日 日本共産党(5名)

合計23名の議員と懇談

多摩市の政策情報誌vol.1~2(15.8~16.3)

vol.1

みんなで考えよう

公共施設の見直しと将来像

持続可能な多摩市の未来に向けた挑戦

ニュータウン開発から40年、
これからも安全に使いたいね



ぼくが使っている施設は、
どうなるの？

みんなの未来に関わることだから、
施設の将来像を、もう一度みんなで考えていこうよ！



©多摩市

取り組みが始まっている「公共施設の見直し方針と行動プログラム」
(平成26~35年度)について、あらためてご説明します

1. 公共施設の更新は大きな課題	2
2. これまでの取り組み 3. 公共施設の見直し「3つの目的」	3
4. 主な公共施設の見直し(案)	4
5. 公共施設の見直しQ&A	6
6. 新しい取り組み	7
7. これからの進め方	8

多摩市

平成27年8月発行



みんなで考えよう

公共施設の見直しと将来像

持続可能な多摩市の未来に向けた挑戦

多摩市
政策情報誌 vol.2
平成28年3月発行

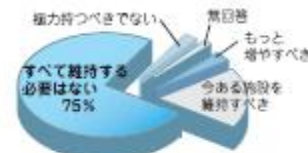
次々と老朽化していく、公共施設や都市基盤施設

劇的に変化する、
多摩市を取り巻く社会経済状況

多くの方が気づいている、
全ての施設を維持できないことを



少子化・高齢化が進むと、増えていく医療や介護等にかかる費用に税収が追いつかず、収支のバランスが保てなくなります。今後、公共施設にかけられるお金は、確実に減っていきます。



多摩市公共施設の見直しについてのアンケート調査
(平成27年9月実施)
有効回答数による16歳以上の市内在住600人対象 (回答率26.8%)

公共施設の見直し 3つの目的

- 1 安全に使い続ける
- 2 施設全体のダイエツト
- 3 時代のニーズに合わせた施設への機能転換

施設総量を見直し、新たなニーズに対応できるまちへ

「タウンニュース」2016/6/9

図書館存続へPR

4団体が情報紙制作

地域図書館の存続を求め、市内で活動を行っている「豊ヶ丘複合館存続の会」「東寺方複合館の存続を考える会」「聖ヶ丘図書館の存続を考える会」「唐木田図書館の存続を考える会」の4団体がこのほど、情報紙

「わたしたちの図書館をなくさないで」を共同で制作。現在、市内各所で配布を行っている。

「東寺方複合館の存続を考える会」「聖ヶ丘図書館の存続を考える会」「唐木田図書館の存続を考える会」の4団体がこのほど、情報紙

現在、多摩市は「公共施設の見直し方針と行動プログラム」の取り組みを進める中で、7カ所にある地域図書館を3館に集約するという方向性を示している。一方で、豊ヶ丘、東寺方、聖ヶ丘、唐木田の4地区では、それぞれ地域住民や自治会などで「存続を考える会」を発足し、市議会への陳情や、市長、市議、教育委員会と懇談を行うなどの活動を行ってきた。

反映されていないことから、より多くの市民に実態を知ってもらおうと、4団体が共同で出資し2万部を制作。地域図書館を含む「身近な公共施設の存続」を願う1万5千筆を超える陳情・要請署名があがっているにも関わらず具体的な提案がないことや、パルテノン多摩の大規模改修や新市庁舎建設構想を例に、市が持ち出す財源難への疑問等が書かれている。

「実態を広く知って」

「実態を広く知って」

今回、制作した情報紙は、市が昨年8月と今年3月に発行した「政策情報誌」に、図書館に関わる問題点が書かれていないこと、これまでの会の活動や市民の声が

4団体は「公共施設の見直しは『市民の声を聴きながら』と言い、市の自治基本条例にも『市民の意思に基づき』とあるにも関わらず、市民の声が反映されているとは思えない。この情報紙を読んで、実態を多くの市民に知ってもらいたい」と話す。今夏には『公共施設の見直し』の更新が予定されている。「素案に我々の声が反映されていないければ、情報誌の第2弾やもつと違う形での行動を起こしていきたい」と話している。



各地区の「存続を考える会」メンバーで制作

市民情報紙No. 1 (2016.5)

全て市民の

カンパで作成



図書館 7館から3館に!?

わたしたちの

図書館を

なくさないで



図書館は地域のたからもの

多くの市民が利用

個人貸出冊数・・・第2位
予約受付・・・第1位
(全国同規模の市町村で)

ほんとうに財政難なの?

パルテノン多摩大規模改修 72~82億円

地域図書館4館の維持費
年間 1億5千万円

地域館の存続
求める署名
1万5000筆

議会は陳情を採択、
趣旨採択

多摩市民による
市民の情報紙

No.1
2016年5月発行

多摩市は市民の声を尊重して

大切な地域の公共施設の存続を求めて活動しています。
豊ヶ丘複合館存続の会 東寺方複合館の存続を考える会
聖ヶ丘図書館の存続を考える会 唐木田図書館の存続を考える会

編集・発行は
4団体共同

「市民情報紙」発行のための募金を募ります。名義:多摩市の地域図書館の存続を願う会 代表者 厚芝麗子
ゆうちょ銀行 10190-80311811 他行から振り込む場合、店番018-80311811

地域図書館はなくては
ならないもの
くらしに根づいています



近くにあるから
助かってます

子ども私も
図書館が大好き!!

(平成26年度)

地域図書館	貸出者数	貸出冊数	運営費(含む人員)
聖ヶ丘図書館	40,998人	106,611冊	4,820万円
東寺方図書館	32,536人	92,342冊	2,238万円
豊ヶ丘図書館	61,474人	164,180冊	4,403万円
唐木田図書館	48,671人	127,218冊	4,130万円
計	183,679人	490,351冊	1億5,591万円

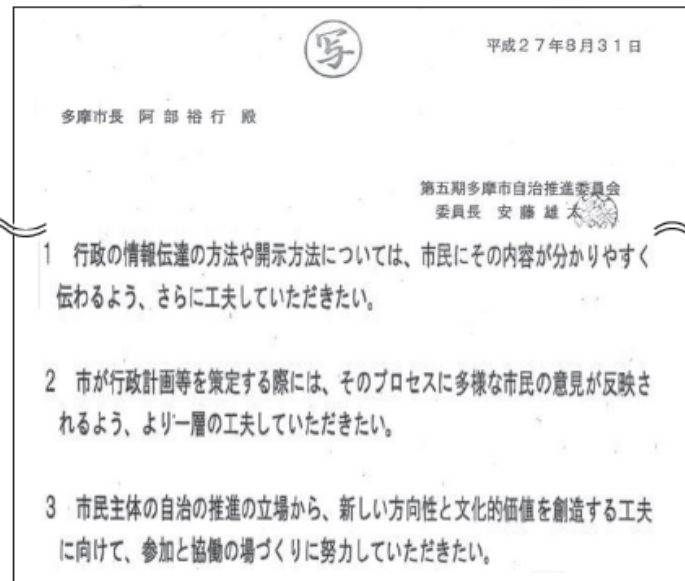
聖蹟、永山、唐木田、 多摩センターでの宣伝行動



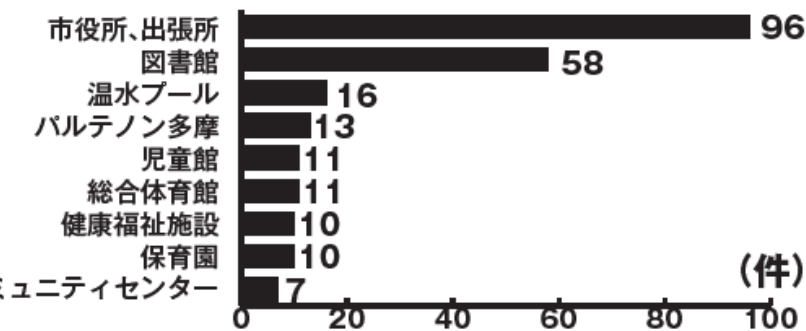
「地域図書館なくさないで」が市民の意思

多摩市には最高規範として自治基本条例があります。その4条は「私たちのまちの自治は市民の意思に基づき」と明記しています。現在7館ある図書館を4館減らして3館にすることは果たして多摩市民の意思なのでしょうか。自治推進委員会からも右のような意見が市長へ提出されています。

自治推進委員会からの意見

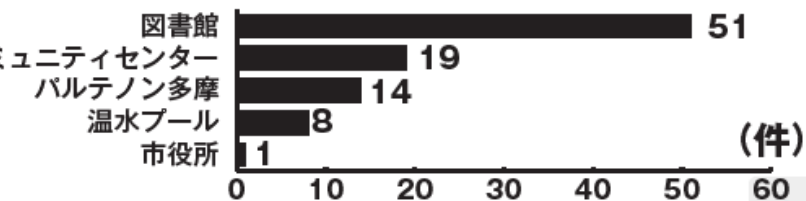


なくなったら生活に影響する施設



「多摩市の公共施設の適正配置に関するアンケート」(平成24年度)

よく利用する施設



「多摩市公共施設の見直しについてのアンケート」(平成27年)

市に必要な施設(身近な施設の変化)

	平成25年度	平成27年度
1 小売店(商店街)	24.5%	22.4%
2 診療所・病院	20.8%	20.5%
3 地域の運動施設	17.8%	17.8%
4 地区図書館	12.3%	14.9%
5 コミュニティセンター	10.7%	13.1%
6 子どもの遊び場(児童公園)	10.3%	10.8%
7 保育所	9.7%	10.2%
8 交番(派出所)	9.3%	9.3%
9 郵便局(ポスト)	9.2%	8.5%
10 地区図書館	7.7%	7.6%

平成28年1月多摩市政世論調査

平成24年度

公共施設の適正配置に関するアンケート

集計結果

問1-7 なくなってしまった場合、あなたの生活に影響が出る施設があればお知らせください。

施設名	件数
市役所、出張所	96
なし	62
図書館	58
温水プール	16
パルテノン多摩	13
児童館	11
総合体育館	11
健康福祉施設	10
保育園	10
コミュニティセンター	7
学童クラブ	5
地区市民ホール	5
デイサービスセンター	5
子育て支援施設	4
市営住宅	4
総合福祉センター	4
公民館	3
市民活動施設	3
子育て総合センター	2

施設名	件数
アクアブルー多摩	1
旧南永山小学校グラウンド	1
教育センター	1
グリーンライブセンター	1
健康福祉センター	1
サッカー場	1
島田療育センター	1
関戸図書館	1
粗大ごみ清掃工場	1
駐輪場	1
トムハウス	1
東永山小学校	1
武道館	1
陸上競技場	1
老人福祉館	1

問 1-8 次の施設の中で大切だと思う順に 1～13 の順位をご記入ください。

合計	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	分からない
A.図書館	33	62	43	16	6	2	5	2	2	2	1	0	0	19
B.市役所出張所	112	27	8	6	6	5	4	2	0	2	3	2	1	15
C.児童館	13	34	39	17	12	20	7	7	4	4	1	0	2	33
D.パルテノン多摩	11	16	29	22	20	14	14	12	7	7	7	0	3	31
E.公民館	3	9	17	31	22	11	21	10	10	7	7	3	0	41
F.温水プール	2	3	8	17	10	16	21	12	16	17	11	7	3	50
G.総合体育館	3	5	14	9	26	25	14	22	12	8	7	0	0	48
H.陸上競技場	1	0	5	6	9	12	18	25	18	20	8	11	4	56
I.武道館	0	0	0	4	5	5	9	16	19	17	28	16	10	64
J.地区市民ホール	2	6	5	10	22	20	14	16	19	17	7	6	0	49
K.コミュニティセンター	1	10	5	17	18	12	14	11	8	16	22	2	0	57
L.フレンドリー「ふじみ」	0	2	2	2	4	6	4	6	11	2	8	36	33	77
M.グリーンライブセンター	1	4	1	5	2	4	3	4	8	5	8	24	35	89

【男性】

問 1-9 次の施設は年間に何回利用しますか。

合計	10回以上	5回以上	1回以上	利用無し	無回答
A.図書館	70	28	29	47	9
B.市役所出張所	21	42	85	27	8
C.児童館	13	9	11	137	13
D.パルテノン多摩	9	23	67	74	10
E.公民館	9	10	31	123	10
F.温水プール	7	17	25	125	9
G.総合体育館	7	10	20	137	9
H.陸上競技場	0	2	9	163	9
I.武道館	1	1	1	171	9
J.地区市民ホール	6	6	25	136	10
K.コミュニティセンター	8	17	28	121	9
L.フレンドリー「ふじみ」	0	0	8	165	10
M.グリーンライブセンター	3	5	22	142	11

公共施設の見直しについてのアンケート

集計結果

(平成 27 年 8 月 28 日～平成 27 年 9 月 25 日実施)

21/0

24%

【よく利用する施設】

図書館	50 件	総合福祉センター	4 件	地区市民ホール	1 件
コミュニティセンター	19 件	総合体育館	3 件	子育て総合センター	1 件
パルテノン多摩	14 件	東永山複合施設	3 件	フレンドリーふじみ	1 件
温水プール	7 件	老人福祉館	2 件	市役所	1 件
公民館	7 件	テニスコート	2 件		
児童館	6 件	クラブハウス	2 件		

市に必要な施設(身近な施設の変化)

平成25年度

平成27年度

1	小売店(商店街)	24.5%
2	診療所・病院	20.8%
3	地域の運動施設	17.8%
4	バス路線(バス停)	12.3%
5	コミュニティセンター	10.7%
6	子どもの遊び場(児童公園)	10.3%
7	保育所	9.7%
8	交番(派出所)	9.3%
9	郵便局(ポスト)	9.2%
10	地区図書館	7.7%

1	小売店(商店街)	22.4%
2	診療所・病院	20.5%
3	地域の運動施設	17.8%
4	地区図書館	14.9%
5	バス路線(バス停)	13.1%
6	コミュニティセンター	10.8%
7	保育所	10.2%
8	子どもの遊び場(児童公園)	9.3%
9	交番(派出所)	8.5%
10	郵便局(ポスト)	7.6%



平成28年1月多摩市政世論調査

(1) 個人貸出冊数、予約受付件数

13市の中で単純な貸出冊数では武蔵野市、西東京市に次いで3位、人口ひとりあたりに換算すると、武蔵野市に次いで2位となり、比較的図書館に恵まれている26市の中でも非常に高いレベルにあることがわかります。

個人貸出数(千冊)

1	武蔵野市	2,327
2	西東京市	2,213
3	多摩市	1,755
4	立川市	1,658
5	日野市	1,649
13市平均		1,384

市民ひとりあたり個人貸出数(冊)

1	武蔵野市	16.6
2	多摩市	12.0
3	西東京市	11.2
4	立川市	9.3
5	日野市	9.2
13市平均		9.1

個人貸出冊数と予約受付件数からわかることは、多摩市立図書館が非常に高いレベルで市民の方に利用されていることです。

多摩市の政策情報誌 vol.3～4 (16.7～16.12)

公共施設の見直しと将来像

みんなで
考えよう

多摩市
政策情報誌
vol.3
(平成28年7月発行)

持続可能な多摩市の未来に向けた挑戦



「公共施設の見直し方針と行動プログラム」 を更新します

平成25年11月の「公共施設の見直し方針と行動プログラム」の策定以降、市民の皆さんと対話を重ねながら、持続可能なまちに向けて、施設総量を見直しています。
このたび、これまでの取り組み状況や社会状況の変化を踏まえ、行動プログラムの更新案を作成しました。本案をもとに、市民の皆さんのご意見をうかがい、更新を行います。

市民の皆さんのご意見を募集します

▼市民説明会の開催

行動プログラムの更新案についての説明と、市民の皆さんとの意見交換を行う場として、市民説明会を開催します。

▼市民説明会の日時・場所等

日程 (平成28年)	時間	会場	定員
7月23日 (土)	10:00～12:00	関戸公民館 8階 大会議室	90人
8月5日 (金)	19:00～21:00	永山公民館 5階 ベルブホール	100人
8月6日 (土)	14:00～16:00	バルテノン多摩 4階 第一会議室	90人

※申込み不要です。当日



©多摩市

公共施設の見直しと将来像

みんなで
考えよう

多摩市
政策情報誌
vol.4
(平成28年12月発行)

特集 多摩センター活性化とバルテノン多摩



目次

「公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました！ 2～3 ページ

【特集】多摩センター活性化とバルテノン多摩
多摩センターはこう変わる！ 4～5 ページ
バルテノン多摩を改修します 6～8 ページ

市民に愛される「バルテノン多摩」をめざして ～行動プログラムを更新しました～

本年11月、「公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。市民の皆さんとの対話を重ね、コミュニティセンター内の地域図書館など身近な施設は残しつつ、次世代への負担を軽減していく創意と工夫をこらしていくこととしています。

今号では「バルテノン多摩」の大規模改修への対応と、百貨店の営業終了などで心配の多い多摩センター地区の環境整備での市としての将来構想イメージを紹介いたします。

あわせて皆さんからご質問をいただく事業費の対価についてですが、今回の大規模改修は、住民都市計画税により賄うこととしています。この税は目的税であり、特養先対策や地域包括ケアなどには

使うことのできない形であり、なおかつこれまでは施設のリニューアルには使えない財源でした。

多摩市では、国に使途の拡大を強く求め、平成28年に国土交通省の指針が改定され、都市計画決定されている施設である「バルテノン多摩」にも都市計画税を適用できるようになったものです。

改修後は、市民の皆さんの憩いの場として、芸術・文化そして多摩地域の情報発信・地域文化の拠点として運営方法・内容を市民の皆さんと議論し、私たち市民にとってなくてはならない「バルテノン多摩」としていきたいと考えております。

市民の皆さまのご理解と更なるご協力を
よりしくお願い申し上げます。
多摩市長 岡部 裕行



豊ヶ丘複合施設

●地域に必要な機能についての検討

当初、大規模改修時期である平成34年度に建物を廃止する方向性を示していましたが、施設の存続を求める陳情が議会で採択されたことから、一旦立ち止まり、大規模改修時期の前までに、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

建物内の各施設についても、地域に必要な機能とその機能の確保策等について検討していきます。

東寺方複合施設

●地域に必要な機能についての検討

当初、平成29年度に建物を廃止する方向性を示していました。しかし、和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターの整備や和田・東寺方・愛宕地域の都営住宅の建替え等、今後周辺環境が大きく変化し、それにより施設の利用の仕方や人の流れも変わっていくことが想定されることから、一旦立ち止まり、平成35年度の大規模改修時期の前までに、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

建物内の各施設についても、その間の環境変化を考慮しながら、地域に必要な機能とその機能の確保策等について検討していきます。なお、東寺方学童クラブは当初の予定どおり、多摩第二小学校敷地内に移転します。

ひじり館・からきだ菖蒲館

●図書館サービスの継続と居場所や相談機能等の検討

当初、聖ヶ丘及び唐木田図書館については、図書館本館の整備に合わせて廃止する方向性を示していましたが、図書館全体の仕組みを見直す中で必要な図書館サービスを精査しながら残していきます。

あわせて、市民ワークショップで地域に必要な機能・サービスとしてご意見をいただいた、高齢者の居場所や相談機能等として、地域包括支援センター等の併設を検討します。

なお、聖ヶ丘学童クラブは現行のまま、唐木田児童館は地域子育て支援拠点として存続します。

市民情報紙No. 2(16.11)

「施設の配置や機能の転換」ってなに？ まだまだ大きい行政とのギャップ

行政の提案

・図書館全体の仕組みを見直す中で必要な図書館サービスを精査しながら残していきたい。
・高齢者の居場所や相談機能等として、地域包括支援センター等の併設を検討します。



聖ヶ丘図書館・唐木田図書館

今後ますます大切さを増す地域包括支援センターを、地域館の蔵書の一部を本館に集中させ、空いたスペースに設置で、ほんとうに地域住民の暮らしに役立つのか、ひろく市民の意見を聞くべきではないでしょうか。

豊ヶ丘図書館、東寺方図書館

それぞれ6年後と7年後の大規模改修の時期まで市民と対話を行いながら検討を続ける。



図書館・複合館の存続を明確に打ち出すべきです。サービスの内容や運営体制は市民の声を生かすべきです。

多摩市は「市民と話し合っ」てというが…

大切な施設を守るために
私たちの声を届けることが
ますます重要に！



多摩市の最高規範の自治基本条例にもとづき、地域図書館・複合館を残したいという市民の意思を受け止めてください。

地域図書館・複合館存続へ——これまでの経過

平成25年 11月に「公共施設の見直し方針と行動プログラム」が策定される。図書館本館の整備にあわせ、唐木田・聖ヶ丘図書館の廃止、東寺方図書館は(仮称)和田・東寺方コミュニティセンターの建設に合わせて、東寺方複合施設とともに廃止されることが示される。豊ヶ丘複合施設は平成34年度に建物を廃止することが示される。

平成25年 「豊ヶ丘複合館存続の会」が結成される。

平成26年 「東寺方複合館の存続を考える会」、「唐木田図書館の存続を考える会」、「聖ヶ丘図書館の存続を考える会」が結成される。

平成28年 5月、市民情報紙NO.1発行、11月にNO.2を発行。



連絡先	豊ヶ丘複合館存続の会 代表 大橋 慶一 042-202-3245 yoshi@shashi.naga	東寺方複合館の存続を考える会 代表 青藤 仁 042-378-6594 torakake@sonzoku@yahoo.co.jp	聖ヶ丘図書館の存続を考える会 代表代行 厚芝 麗子 042-378-9624 r_shishiba@hotmail.com	唐木田図書館の存続を考える会 代表 中江 新明 042-371-3385 nakai_0112@yahoo.co.jp
-----	---	---	--	--

「市民情報紙」発行のための募金を募ります。名義:多摩市の地域図書館の存続を願う会 代表者 厚芝麗子
ゆうちょ銀行 10190-80311811 他行から振り込む場合、店番 018-普通 8031181



わたしたちの願いが市にとどき

地域図書館 廃止から 「存続」へ



多摩市は、この7～8月に【公共施設の見直し方針と行動プログラム・更新案】の市民説明会を、市内3ヶ所で行った。その後、8/31市内4ヶ所での「地域説明会」が開催され、その中で、「地域図書館の存続」を確認する重要なやり取りが交わされました。地域図書館の存続を願うわたしたちの声を継続して届けていくことが大事です。

図書館本館は何としても更新したい。本館再構築基本構想策定委員会で、図書館全体のシステムを検討する中で、本館だけでなく地域館も併せた検討を進めている。(各地域説明会での市側の発言)

聖ヶ丘図書館

「何とかならせて行こうと内部検討している」(8/31)

からきだ図書館

「市としてはコミセン内に図書館は残し、プラスアルファとして地域サービスという観点で高齢者の居場所や相談機能等を考えている。図書館本館と地域館との役割分担を考えるタイミングで

どういった機能を付加していくかを考えたい」(10/5)

東寺方複合施設の図書館

「大型改修予定のH35年までは現状通り存続。その数年前から市民の皆さんと一緒に考えていく。図書館本館建て替えに併せて、地域館との関係も検討をする。」(10/13)

豊ヶ丘複合施設の図書館

H34年度に大規模改修する予定。その数年前から図書館本館基本構想の目途(全体の姿)が見えてくる中で、周辺環境の状況変化も見極めながら検討して行きたい。(10/22)

多摩市民による
市民の情報紙

No.2
2016年11月発行

これからも図書館のあり方を考えよう

大切な地域の公共施設の存続を求めて活動しています。
豊ヶ丘複合館存続の会 東寺方複合館の存続を考える会
聖ヶ丘図書館の存続を考える会 唐木田図書館の存続を考える会

編集・発行は
4団体共同



いつでも

どこでも



だれでも

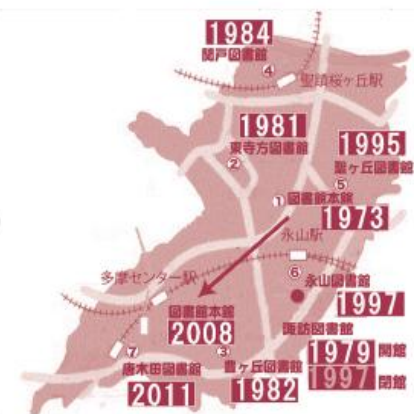
利用できる図書館を

多摩市の図書館は、予約受付や個人貸出冊数というサービスでは、同規模の全国市町村のなかでは1,2位という実績があります。貸出冊数は、地域館・拠点館で80%近く占めるというのが多摩市の特長です。

この6月、教育委員会は「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」(委員長:柳田邦男氏)を設置しました。策定委員会は、本館再構築(本館に必要な機能と環境)及び基本構想(地域館・拠点館のあり方、図書館ネットワーク)について検討しようというものです。そして、市民団体、図書館関係者、市の行政関係者など広くヒアリング(情報提示・意見交換)を行い、来年1月初頭には基本構想(案)をまとめる予定です。

これまでの実績や特長、ヒアリングが活かされた「構想」の策定となるよう、見守り、意見を表明していきましょう。

多摩市の図書館は、地域館を大切にしてきた



多摩市の図書館は、1973年に市役所隣りのやまばとホール、公民館と複合で開館し、翌年には自動車図書館「やまばと号」が運行されはじめました。児童サービスを大事にし、東寺方、豊ヶ丘、関戸、聖ヶ丘、永山、唐木田の順に整ってきた7館体制は左の地図のとおりです。

中央図書館施設設計画の検討は、1981年の第2次多摩市総合計画で中央図書館と7地域の8館構想が計画されてからはじまりました。1990年に多摩市は「多摩市立中央図書館基礎調査報告書」を出しました。ここでは、中央図書館の建設は緊急を要するとし、その第1の理由に地域図書館のサポートをあげています。そして、「多摩市に図書館があるというのは、市の中央に一つの図書館という建物が存在することではなく、多摩市の市民全体にサービスがゆきわたらなっていること」だと言っています。この報告書の後も、館長名で発刊された中央図書館建設に向けての構想案(1992)や、図書館協議会の中央図書館機能およびその整備のあり方についての答申(2010)で地域館のバックアップや結び合いが謳われています。ところが、2013年の「行動プログラム」では、地域館4館を廃止する3館構想に変えられてしまいました。

地域館が生きる図書館ネットワークを一策定委員会ヒアリング

市民団体ヒアリングから

- 中央館を補完する地域館ではなくて、地域館を支援する中央館、という図書館システムでありたい。
- 嘱託職員の待遇について留意してほしい。専門性が育つくみも考えたい。
- 利用者懇談会を図書館地域館別に定期的に開きたい。
- 唐木田図書館を利用しているが、市の直営に戻してほしい。

図書館職員研究会ヒアリングから

- 地域館が多摩市の良いところだと思う。再編整備の流れで閉館していくかもしれないと諦めていたが、地域密着が図書館の大切な要素だと思う。
- 「日常」使いやすさ。安心して日課のように毎日通える。子どももお年寄りも足を運べる。「近さ」が必要。こまめに通うことにより、色々な本に触れ人生の糧を得る、視野を広げる。
- 地域館の存在はデータだけでは計り知れない。本を介して人と人のつながりが求められている。地域の環境(新たな図書館)が変化しても地域館は「心のふるさと」の役割を担っていかなければならないと思う。高齢者にとって身近にある生涯学習とコミュニケーションを得る場所であると思うので、この2点は求め続けられる。

* 策定委員会

を皆で、傍聴し、
審議を見守りましょう

第6回: 11月20日
第7回: 1月7日 (2017年)
(詳細は、図書館ホームページ)

* 基本構想原案

が示されます

- ▼市民意見交換フォーラム
12/3(土)
PM6:30より
永山ペルプホールにて開催
- ▼パブリックコメント募集
11/26(土)~12/16(金)
皆で、意見を表明しましょう。

こうした意見が積み重ねられていたのになぜ、2013年「行動プログラム」策定時に3館構想が打ち出されてきたのでしょうか。



多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム

～少子化・超高齢社会に向けた持続可能なまちづくりのために～



唐木田



東寺方



聖ヶ丘



豊ヶ丘

平成28年11月更新

多摩市

唐木田図書館

【建築年月(からきだ菖蒲館) : 平成23年2月】 【延床面積 : 577㎡/2,602㎡】

今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H28年 11月更新	検討	—	—	現状どおり存続し、本館の整備とあわせて、図書館全体の仕組みを見直していく中で、必要なサービス内容や運営体制について検討していきます。

H28年度以降の取組みスケジュール

年度	H26(実績)	H27(実績)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
取組み内容			新たな本館との役割分担を含めたサービス内容等の検討							

H25年度策定時の今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H25年 11月当初	廃止	—	未定	<p>本館の整備に合わせ、施設を廃止します。</p> <p>廃止後は、コミュニティセンター内に、図書館資料の予約の申し込み、貸出、返却ができる機能を設置します。</p> <p>民間委託による施設管理の一元化の導入を検討します。(H29年度以降)</p> <p>空きスペースについては、図書や情報拠点をサポートする民間NPO法人への委託等、民間への賃貸を含めた活用を検討します。</p>

聖ヶ丘図書館

【建築年月(ひじり館) : 平成7年7月】 【延床面積 : 842㎡/2,519㎡】

今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H28年 11月更新	検討	—	—	現状どおり存続し、本館の整備とあわせて、図書館全体の仕組みを見直していく中で、必要なサービス内容や運営体制について検討していきます。

H28年度以降の取組みスケジュール

年度	H26(実績)	H27(実績)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
取組み内容			新たな本館との役割分担を含めたサービス内容等の検討							

H25年度策定時の今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H25年 11月当初	廃止	—	未定	<p>本館の整備に合わせ、施設を廃止します。</p> <p>廃止後は、コミュニティセンター内に、図書館資料の予約の申し込み、貸出、返却ができる機能を設置します。</p> <p>民間委託による施設管理の一元化の導入を検討します。(H29年度以降)</p> <p>空きスペースについては、図書や情報拠点をサポートする民間NPO法人への委託等、民間への賃貸を含めた活用を検討します。</p>

東寺方図書館

【建築年月(東寺方複合施設) : 昭和56年4月】 【延床面積 : 551㎡/1,637㎡】

今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H28年 11月更新	検討	未定	未定	当面現状どおり存続し、本館の再構築とあわせて、図書館全体の仕組みを見直していく中で、施設の大規模改修の時期までに、市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます。

H28年度以降の取組みスケジュール

年度	H26(実績)	H27(実績)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
取組み内容			新たな本館との役割分担を含めたサービス内容等の検討							

H25年度策定時の今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H25年 11月当初	廃止	—	29	(仮称) 和田・東寺方コミュニティセンターの建設時期に合わせて、施設を廃止します。 なお、多摩第二小学校内に図書館資料の予約の申し込み、貸出、返却ができる機能を設置します。

豊ヶ丘図書館

【建築年月(豊ヶ丘複合施設) : 昭和54年4月】 【延床面積 : 508㎡/1,549㎡】

今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H28年 11月更新	検討	未定	未定	当面現状どおり存続し、本館の再構築とあわせて、図書館全体の仕組みを見直していく中で、施設の大規模改修の時期までに、市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます。

H28年度以降の取組みスケジュール

年度	H26(実績)	H27(実績)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
取組み内容			新たな本館との役割分担を含めたサービス内容等の検討							

H25年度策定時の今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H25年 11月当初	廃止	—	34	本館の整備に合わせ、施設を廃止します。 廃止後は、コミュニティセンターまたは青陵中学校内に、図書館資料の予約の申し込み、貸出、返却ができる機能を設置します。 民間委託による施設管理の一元化の導入を検討します。(H29年度以降)

関戸公民館

【建築年月(ヴィータ・コミュニェ) : 平成11年9月】 【延床面積 : 4,379㎡/5,047㎡】

今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H28年 11月更新	統合の上、 存続	永山公民館	未定	移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていきます。

H28年度以降の取組みスケジュール

年度	H26(実績)	H27(実績)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
取組み内容		統合に向けた検討	統合に向けた検討							

H25年度策定時の今後の取組み内容

時点	方向性	移転・統合先	年度	具体的な取組み
H25年 11月当初	統合の上、 存続	永山公民館	29以降	健康センターの大規模改修時期に合わせ、平成29年度以降に公民館事業を永山に統合します。施設については、市民活動の場として貸し出すとともに、駅前の立地を活かし、市民ロビー及びホールを中心に民間活力を導入して集客増加、歳入確保を図ります。